



尿蛋白(腎機能/尿検査)

蛋白(尿蛋白)	
意義	糸球体の蛋白濾過能、尿細管の蛋白吸収能をみる
正常*	尿蛋白排泄量：0.15g/日未満 尿蛋白/Cr比：0.15g/gCr未満 試験紙法での目安：(-)～(±) ※(1+)以上(30mg/dL)を陽性と判定
異常値で疑う疾患	心不全、高血圧、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、ループス腎炎、急性尿細管壊死、尿路感染症など
服薬指導に活かせるポイントなど	<ul style="list-style-type: none"> ❑ ストレス、激しい運動後、入浴後、発熱時、起立時などに、尿蛋白が陽性になること(生理的蛋白尿)があるため、検査前の状況の確認を行い、再検査を勧める ❑ 薬剤性の腎障害により尿蛋白が陽性になることもあるため、可能性のある抗生剤(アミノグリコシド系、セファロスポリン系、テトラサイクリン、PAS)、利尿薬(サイアザイド系)、解熱鎮痛薬などの併用に注意する ❑ 腎排泄型薬剤の用法用量調節の必要性がある